

中国地区の若年性認知症支援コーディネーターをご紹介します

(令和4年度)

【しまね若年性認知症相談支援センター】

0853-25-7033

開設日時：月～金 10時～16時
(祝日、年末年始及びお盆を除く)



～メッセージ～

平成30年度より、若年性認知症支援コーディネーターを配置しています。現在、3名のコーディネーターが、認知症本人の方やそのご家族からの相談を受けています。

「私たち若年性認知症コーディネーターは邪魔にならないくらいの爽やかな社会の風を運んでいきます。お気軽にご相談ください。」

【鳥取県若年認知症サポートセンター】

0859-37-6611

開設日時：月～金 9時～17時
(祝日、年末年始を除く)



オレンジカフェ わだや小路
〒683-0054 鳥取県米子市糺町1丁目10

～メッセージ～

本人・家族・若年認知症の方を雇用する企業、若年認知症の方が利用する関係機関等、どなたでも相談できます。

本人と家族の居場所づくり「にっこりの会」
本人と家族の相談窓口の「おれんじドア」
若年認知症の方の就労支援や企業セミナーも行っています。お気軽にお問い合わせください。

【山口県若年性認知症支援相談窓口】

0836-58-2212

開設日時：月～金 9時～17時
(祝日、年末年始を除く)



～メッセージ～

記憶力や理解力の低下が気になる方、そのご家族、雇用されている企業、関係機関など、どなたでもお気軽にご相談ください。窓口は山口県立こころの医療センター内にあり、認知症疾患医療センター、高次脳機能障害支援センターと同じフロアで、受診相談から就労や経済的な相談など関係機関と連携を図り相談に応じています。

【広島県若年性認知症サポートルーム】

082-298-1034

開設日時：月～金 9時～17時
(祝日、年末年始を除く)



～メッセージ～

最近、物忘れが気になる。物事を覚えなくなり、今まで出来ていたことができなくなってきた。そんな悩みをお持ちの方へ。良かったら、私達のところで困っていることや悩んでいることを聞かせてもらえませんか。これからの生活を私達は一緒に考えていきます。

【おかやま若年性認知症支援センター】

086-436-7830

開設日時：月～金 10時～16時
(祝日、年末年始及びお盆を除く)



～メッセージ～

認知症は高齢者だけの病気ではありません。働き盛りの世代であるために病気に気付かず、受診に繋がりにくい事もあります。医療や就労、経済的な問題など、今後の生活の相談にも応じます。何かおかしいと思ったら気軽にご相談ください。必要に応じて電話、面談、訪問等対応いたします。

※相談は無料です（通話料金はご負担ください）

「若年性認知症」のことは 「若年性認知症支援 コーディネーター」 にご相談ください。

医療費助成、
障害年金など
利用できる社会制度
について知りたい

今の会社で
働きたい。
仕事がしたいけど
どうしたら良いの？

若年性認知症の人の
子供に対する
ケアは？

どのような
医療機関を
受診したら良いの？

若年性認知症支援コーディネーターとは

2015（平成27）年1月、厚生労働省は関係11府省と共同で「認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）」を策定し、都道府県ごとに若年性認知症の相談窓口を設置し、そこに若年性認知症の人の自立支援に関わる関係者のネットワークの調整役として、若年性認知症支援コーディネーターを配置することとしました。また、指定都市においても、配置しているところがあります。

若年性認知症支援コーディネーターは、若年性認知症の人のニーズに合った関係機関やサービス担当者との調整役であり、本人や家族の支援をワンストップで行います。

都道府県では

各都道府県では、ワンストップで行う相談窓口の設置の他、若年性認知症の人やそのご家族、さらに必要に応じて職場や産業医、地域の当事者団体や福祉サービスの事業所等と連携し、市町村と協力して就労の継続や居場所づくりの充実を進めています。

- 相談窓口の設置（若年性認知症支援コーディネーターによる相談）
- 市町村や関係機関との連携体制の構築
- 地域や関係機関に対する若年性認知症にかかる正しい知識の普及

※各都道府県の相談窓口は
裏面をご覧ください。

若年性認知症支援コーディネーターの主な役割

- 適切な専門医療機関への案内と継続的な支援
- 就労の継続に関する支援
- 利用できる制度・サービスの情報提供
- 本人・家族が交流できる居場所づくり支援



社会福祉法人 仁至会 認知症介護研究・研修大府センター

〒474-0037 愛知県大府市半月町三丁目294番地 TEL：0562-44-5551